

ご存知ですか？“神経内科専門外来”



「人間が人間らしく生きるために、神経は非常に重要な機能」と語る熊本医師

御幸病院では、平成29年5月新たに神経内科専門外来を開設しました。

神経内科専門外来とはどんな外来なのか、神経内科専門医として診察を担当する熊本俊英医師にお話を聞きました。

●神経内科とはどういう内科なのでしょう？

一般にはあまり耳慣れない名称かもしれませんが、「神経系（中枢神経、末梢神経、自律神経、筋肉）の病気を内科的に診断して治療を行う専門の科」です。

ヨーロッパでは約250年前から一般に認知されていますが、日本での歴史は浅く、昭和50年に初めて医療として認可されました。

脳神経外科では脳腫瘍や頭部外傷といった外科的治療を要する中枢神経の病気を主に扱うのに対し、神経内科ではそれ以外の神経系の病気を診療します。

非常に多いのは脳卒中や脳腫瘍です。

●どのような症状の人が受診するのですか？

頭痛、意識障害、けいれん、運動まひ、神経痛やしびれなどの痛みや感覚障害、視力障害、めまい、耳鳴りや難聴、言語障害、嚥下障害、手の震えや体がびくつくなどの不随意運動、歩行障害、認知症、知能障害などは、神経内科の病気にかかった時によく見られる症状です。

これらの症状は他科との関連も深いことから、よろず相談的役割を担う場合もあります。

●「何科にかかればいいのか分からない」というような症状もあてはまるのですね。

そうです。例えば歩行障害は、ヒステリーなどの精神的な障害で起こる場合もありますし、末梢神経が傷害されるギラン・バレー症候群の可能性もあります。

そこで、私たちは診察時に神経のチェックを細かく行うことで疾患の原因を突き止め、適切な治療を行っています。

●今後、御幸病院でどのような医療を行っていくおつもりですか？

これまでの高齢者健診の中には神経機能の直接検査は入っていませんでした。

しかし、高齢者は全員が神経疾患に侵されていると言っても過言ではありません。

認知症は生活習慣病と思われがちですが、実は脳の状態悪化が原因です。

「動作が鈍くなる」「体がかたくなる」などの症状が現れるパーキンソン病も神経内科の典型的な病気です。

加齢とともに出てくる筋肉の衰えや認知機能の低下をできるだけはやくピックアップし、寝たきり状態になる前に適切な治療を行い、患者さんたちのクオリティオブライフ（生活の質）の向上の支えになりたいと考えています。

神経系の症状でお困りの方は、ぜひ私どもまでご相談ください。

診察日：毎週 火曜日午前
木曜日午後
※ 予約制となっています
ご予約は御幸病院受付
096-378-1166 まで



熊本先生愛用の診察用「七つ道具」

<熊本俊英医師プロフィール>

福岡県出身。S 4 8 年 3 月熊本大学医学部卒業。大分大学名誉教授。

大分大学神経内科教授（H15.6～H25.3）、九州看護福祉大学教授及び特任教授（H25.4～H29.4）を経て御幸病院に入職。

[趣味]

日本書紀や古事記以降の文献の中から日本人の神経の病気に対する対応事例を読むこと。

[好きな言葉]

「一灯をさげて暗夜を行く。暗夜を憂うことなかれ、只一灯を頼め。」（佐藤一斎）